

下津第一中学校新聞



学校教育目標

「地域と関わりながら主体的に行動し、心豊かにたくましく生きる子どもの育成」

春寒も緩みはじめ、ようやく過ごしやすい気候となって参りました。皆様、お変わりなくお過ごしでしょうか。昨年の4月、5月は臨時休業で、給食が始まって午後も授業ができるようになったのは6月3日からでした。夏休みが短くなり、取り止めになった行事もたくさんあり、マスク生活とともに楽しい学校生活が随分制限されてきました。しかし、新型コロナウイルス感染症の特性が少しずつわかってきて、感染対策をしながら、徐々に元の生活に近い学校生活が送れるようになってきたことはうれしいことです。下津第一中学校も無事、令和2年度の修了式を迎えることができました。これも、みなさまのご理解、ご支援の賜物と職員一同感謝しております。新年度も引き続き、本校教育にご協力いただければ幸いです。

◇◇3年生奉仕作業◇◇

2月25日(木)の午後、1・2年生が3学期期末考査で帰ったあと、3年生が恒例の奉仕作業をしてくれました。体育館床のワックスがけや各教室の扇風機やエアコンのフィルター洗浄など普段できないところを中心に約2時間、頑張ってくれました。お陰で大変きれいになりました。ありがとうございました。



◇◆3年生を送る会◆◇

3月4日(木)の5・6限、生徒会主催の3年生を送る会を催しました。2年生が中心となって、準備から後片付けまで協力してやってくれました。今年は、新型コロナウイルス感染症対策をしながら、前半は男女にわかれて男子はサッカー、女子は鬼ごっこ、後半は男女混合のドッジボール大会を行いました。みんな走り回って汗をかき、3年生との楽しいひとときを過ごしました。その後、1・2年生から3年生に寄せ書きメッセージを送りました。

学年関係なく、みんなで楽しくレクリエーションをすることができ、3年生もとても喜んでくれました。本校ならではのほっこりする時間となりました。



◆◆◆第74回下津第一中学校卒業証書授与式◆◆◆

令和3年3月9日(火)14:00より、令和2年度の卒業証書授与式を挙行了しました。今年も新型コロナウイルス感染症対策のため来賓の方々にはご遠慮いただき、保護者は各家庭1名参列という人数制限をしながら開催することができました。本校は、生徒数が少ないということから在校生も一緒に卒業生を送ることができました。

〈令和2年度 卒業生答辞〉

肌寒さがまだ残りつつも、桜の花のつぼみは膨らみ始め、春の訪れを感じます。

本日は私たちのためにこのような心のこもった式を挙げていただきありがとうございます。皆さんからいただいたお祝いや励ましの言葉を胸に、私たち二十三名は今日卒業します。

三年前、入学した当初はまだ小学生のあとけなさが残り、期待と不安の中、毎日新しいことでいっぱいでした。勉強が難しくなり、部活動の両立になかなか慣れませんでした。先輩方の行動を見習って少しずつ中学生らしい姿になっていきました。

二年生になると、後輩ができました。初めて先輩と呼ばれたときはすごく違和感がありましたが、徐々に先輩という自覚を持つことができ、よりいっそう学校生活、特に部活に力が入りました。

部活動では、どの部も少ない人数で苦勞しました。先輩がいなかったため一年生からキャプテンを任された人もいました。合同チームのため練習場所まで毎日通った部活もありました。ギリギリの人数でも、チーム一丸となり勝ち上がったときは本当にうれしかったです。大会で力を出し切れたときは、それまでの苦勞が吹き飛ばすような達成感にあふれました。先生に叱られて部活へ行くのが嫌になったこともありましたが、仲間がいたからこそくじけずまた翌日の練習に向かいました。

駅伝部で頑張ったことも大きな思い出です。練習がしんどくて少しだらけていたとき、先生の言葉に励まされ、そこから気持ちを切り替えることができました。そして皆大会まで気持ちを切らさずベストを尽くすことができました。三年間の部活動を通して、自分を磨き、仲間と力を合わせることを学びました。

二年生の行事では、職場体験が印象に残っています。慣れない作業と緊張で、一日が終わると学校生活以上に疲れ果て、仕事の厳しさを感じました。挨拶やお客さんへの接し方など、仕事で大切なことを学び、とても貴重な体験になりました。

二年生の三学期には、緊急事態宣言による休校で、思い通りの学校生活ができなくなり、先輩方の卒業を見送ることもできず寂しい思いもしました。

三年生になってもコロナは収まらず、先の見えない不安なスタートでした。いろいろな行事がなくなっていく中、体育祭と修学旅行は無事に行うことができ本当に良かったです。

体育祭では、自分たちが後輩を引っ張り、思い出に残る楽しいものを作り上げなければいけないと思うと、先輩たちがしてきたことはすごいことなんだと改めて感じました。三年生全員に役割があって、それぞれが役割をしっかりと果たしました。一、二年生に教えるために、必死にダンスの練習をして追い込んだ放課後。成功することが増え、うれしいことがあった一方で、仲間とぶつかり合って悩んだこともありました。しかし、そういうぶつかり合いがあったからこそ、たくさんの案が出て話し合いをし、よりよいものができると思います。練習を重ねていくうちに、三年生全体が今まで以上に成長し、団結して体育祭をすばらしいものに作り上げることができました。

十月には修学旅行がありました。例年とは違う修学旅行に少し戸惑っていた私たちとは裏腹に、三重と滋賀には想像以上の旅行が待っていました。長島スパランドは特に心に深く刻まれています。高速道路からアトラクションが見えた瞬間にその迫力に圧倒されました。絶叫系に挑戦したり写真を撮ったりして、その時間を存分に楽しみました。緊張や興奮を一緒に味わって、自然と笑い合い、達成感に充ちあふれました。



ホテルでは豪華な食事に感激し、夜はみんなで花火をして盛り上がりました。風が強い中ホテルの方が体を張って火をつけてくれて私たちが楽しめるように見守ってくれました。二十三人でする花火はきっと最初で最後。今思い出しても心が温かくなります。夜には友達と話をしたり写真を撮ったり、楽しい時間を過ごしました。幼稚園や保育園からずっと一緒にいる私たちでもさらにお互いをより知ることができ、一緒に今まで過ごせてよかったと思えました。



このような三年間の思い出があるのも、たくさんの周りの方々のおかげです。

在校生の皆さん、体育祭で特にきずなが深まりました。あの時は少し厳しい指示をしたこともありましたが、しっかり私たちについてきてくれてありがとう。これからまだまだ大変なことがあると思います。勉強に部活動、自分の思い通りにいかないことがたくさんあると思います。でも自分を信じていれば必ずその道は開けると信じています。私たちは皆さんを応援しています。

そして先生方。今まで私たちを時には厳しく、そして優しくご指導くださいました。この一年は特に今の情勢、たくさんのことを考え悩まれたはずですが、でも私たちには混乱を見せず、不安の伝染を避けて毎日笑顔で勇気を与えてくださいました。先生方の工夫のおかげで、授業も明るく毎日の楽しみになりました。進路のことでも生徒一人一人と向き合ってくれて本当に心強かったです。どんなときも私たちに寄り添い数々の言葉をかけて下さり、心の支えになりました。本当にこの三年間ありがとうございました。

そして仲間へ。この二十三人で過ごした九年間はあっという間でした。たくさんの思い出は、今思い返すと本当に昨日のことに感じます。いっぱい話をし、いっぱい笑いました。けんかをして泣いたこともありましたが、二十三人で過ごした時間は一生忘れません。ついにお別れするときが来てしまいました。正直寂しいです。明日から別々になりますが、ここからまた一歩、大人への道を踏み出そうとしている私たち。不安もありますが、寂しくなったときは共に歩んできたみんなのことを思い出しましょう。本当に楽しかった三年間、そして九年間をありがとう。

最後に私たちの一番近くで寄り添ってくれた家族へ。今までたくさんの苦勞をかけました。悩みや心配事を相談した時も、私たちの気持ちを受けとめてくれました。行事があるごとに「頑張って」と声をかけてくれてとても勇気づけられました。時には反抗してしまったこともありましたが、私たちにとって家族が一番大切な存在です。今まで見守ってくれて本当にありがとうございました。高校ではお弁当を楽しみにしています。また一つ苦勞を掛けるかもしれませんが、こんな私たちをこれからもよろしくお祈りします。



私たちは下津第一中学校から、自らが選んだそれぞれの道へと飛び立ちます。この学校で学んだすべてのことを胸にいただき、一歩ずつ前進していくことをここに誓います。本日は本当にこのすばらしい式を開いてくださり、ありがとうございました。下津第一中学校のますますの発展を心からお祈りし、答辞といたします。

令和3年3月9日 卒業生代表 井戸本幸大

◇◇1・2年授業参観・保護者会◇◇

3月17日(水)に1・2年生は、今年度最後の授業参観がありました。

1年生は、海南市の産業についてグループで調べ学習をして発表しました。

2年生は、福祉体験や減災学習のまとめを発表したあと、立志式で一人ひとり決意表明をしました。少し緊張気味でしたが、しっかりと発表することができました。



☆特別なこと、有り難いこと☆ 校長 福田 修武

3月9日に卒業式を挙行了しました。昨年に続いて内容等を制限しましたが、本校では卒業生の保護者の方々とともに在校生も出席しました。卒業式後の校庭は、まるで普通の昼休みを賑やかにしたような雰囲気、生徒たちの笑顔がいっぱいでした。

今回の卒業式に在校生を出席させたのは、生徒数が少なくお互いの距離を十分に確保できると判断してのことですが、理由はこれだけではありません。コロナ禍の今年度においても、本校では、体育祭をはじめとする行事や部活動、専門委員会活動など、1・2・3年生が一緒になって活動することがよくありました。「この学校の良いところは、学年に関係なく、生徒みんなが昼休みなどに遊んだり話したりできることです」と卒業生たちが話していました。大切な仲間は同学年の生徒だけではないのです。



とりわけ2年生は3年生とのつながりが強く、「3年生を送る会」では企画・実行の中心になって活躍してくれました。職員みんなが、卒業式には在校生を出席させたいと願い、この生徒たちなら練習や準備の機会が少なくても大丈夫だと確信していました。

みんなで卒業生を送り出すことができた卒業式の当日には、卒業を祝う気持ちとともに、在校生たちや関係するすべての人に対する「ありがとう」の気持ちで心がいっぱいになりました。

「ありがとう」を漢字で「有り難う」と書くことがあります。この文字が表しているように、「有り難い」とことは、つまり「当たり前ではない」「特別なこと」ということです。「当たり前でないことに感謝する」というのが「ありがとう」の本来の意味のようです。コロナ禍の不安がある状況においても、卒業式を行い、式後に穏やかな一時を過ごすことができたのは、本当に「有り難いこと」、そして「特別なこと」でした。

コロナ禍のため、今年度は臨時休校で始まりました。休校がいつ終わるかわからず、「もしかすると、3月までに1年間の教育課程を終えるのは無理では…」と不安がよぎったこともありましたが、1年が過ぎれば教育課程を修了し、中学校での3年が過ぎれば卒業。これらは当たり前のことと思いがちでしたが、コロナ禍の1年でこの意識が180度変わりました。毎日の学校生活を続けられることは、実は特別なことであり、とても有難いことなのです。

コロナ禍において、新しい生活様式ではあるけれど、毎日をおだやかに過ごすことができるのは、国や和歌山県、海南市などの行政で働く方や、医療に携わる方々の苦勞、家族や関係の人の協力があってこそこのことです。また、長期の休校があったにもかかわらず3月末までに教育課程を修了することができたのは、夏休みが短縮されるなどしても我慢して、家族や地域の方々と一緒になって感染防止に気をつけてきたおかげです。何より、生徒と先生たちが、みんなで少しずつ努力を積み重ねてきたからこそだと思います。

3月24日、1・2年生に「修了証」を発行します。修了証は、一年間の教育課程を修了したことの証です。修了の積み重ねが、1年あるいは2年後の卒業証書につながっていきます。今年度、例年どおりに修了証を発行できることは、これまでになく特別で有り難いものだと思っています。子供たちの一年間の努力に、また、保護者の方々の一年間のご理解とご協力に感謝しなければなりません。有り難うございました。

それぞれの御家庭でも、特別で有り難い一年を過ごせたことについて、感謝の言葉があふれることを願っています。

4月行事予定(抜粋)	5月行事予定(抜粋)
<p>8日(木):1学期新任式、始業式、入学式(14:00開式) 育成会新旧総務引継ぎ(19:30~) 第1回委員会(20:15~)</p> <p>9日(金):小学校入学式 給食なし お弁当用意</p> <p>12日(月):給食開始 身体測定(3・4限)</p> <p>16日(金):中体連理事会・専門委員会</p> <p>21日(水):授業参観、育成会総会</p> <p>22日(木):歯科検診 13:25~</p> <p>26日(月)~30日(金):家庭訪問</p> <p>26日(月):眼科検診 13:25~</p> <p>27日(火):耳鼻科検診</p> <p>30日(金):心電図(1年) 13:25~</p>	<p>3日(月):憲法記念日</p> <p>4日(火):みどりの日</p> <p>5日(水):こどもの日</p> <p>13日(木):中間考査発表 内科検診</p> <p>20日(木)21日(金):中間考査</p> <p>27日(月):全国学力学習状況調査</p>

